

地球が舞台だ。



一粒の種子を実らすこと

家畜を増やし育てること

地球上で生きる様々な生態系を理解すること

人と自然が調和する環境を研究すること

「農学」は地球が舞台なんだ。

2005

学生募集要項

宮崎県立農業大学校

農業を理論的・実践的に学

教育
課程

教育の目標

急速に変化する社会情勢に対応できる幅広い視野を先導する農業指導者の育成を行い、本県農業の振

農産学科

●水稲畑作経営コース ●茶業経営コース

水稲・大豆等普通作物と露地野菜、たばこ、茶の栽培・加工について理論と実践の学習



●農産・園芸学科共通科目

植物生理、植物育種、植物病理、応用昆虫、農薬利用、作物栽培概論

●農産学科共通科目

生物工学 I

●水稲畑作経営コース科目

水稲栽培、稲作畑作機械施設、稲作畑作経営、畑作物栽培、畑作物流通加工、プロジェクト学習

●茶業経営コース科目

茶栽培、茶業経営、茶加工流通、プロジェクト学習

Message from Student

池田 直哉 【水稲畑作経営コース】

水稲畑作経営コースでは、水稲栽培は全員が田植えから稲刈りまで行います。畑では、1人1つの作物を担当し、どのようにしたら良い作物が出来るかなどを調査しながら、収穫するまで責任を持って栽培します。良いものが出来れば農大祭で販売します。作業は大変ですが、みんなと一緒に作業するのはとても楽しいです。



●Campus Life●

生命力あふれる大自然を相手に、快適・充実した学習環境の中、仲間と共に豊かな人間性を育む。



プロジェクト Project

基礎理論から最先端領域まで。

学生は、自分のプロジェクト課題を設定します。創造的なプロジェクト活動により、生産技術と経営能力を高め、農業経営者としての能力を身につけていきます。



Miyazaki Prefectural Agricultural Academy

君のためのスケールの大きな教育環境が君の夢の

持ち、高度な技術と経営能力を備えた農業経営者及び地域農業の発展に寄与しうる優秀な人材を養成する。

各学科
共通科目

【一般教養科目】 暮らしと経済、人間と社会

【専門共通科目】 農業経営、地域農業論、農情情報処理、環境工学、国際

Miyazaki Prefectural Agricultural Academy

園芸学科

●野菜経営コース●花き経営コース●果樹経営コース

最先端の園芸施設を活用して、施設野菜・花き・果樹栽培についての理論と実践の学習



●農産・園芸学科共通科目

植物生理、植物育種、植物病理、応用昆虫、農薬利用、作物栽培概論

●園芸学科共通科目

園芸概論、園芸施設、園芸流通、園芸行政、生物工学 I

●野菜経営コース科目

野菜栽培、野菜経営、野菜加工、プロジェクト学習

●花き経営コース科目

花き栽培、花き経営、フラワーデザイン、プロジェクト学習

●果樹経営コース科目

果樹栽培、果樹経営、果樹加工、プロジェクト学習



Message from Student

後藤 郁南 【花き経営コース】

私はトルコギキョウの品質向上の学習に取り組みました。農大では播種から収穫まで自分で責任を持って取り組まなくてはなりません。作業は大変ですが、将来のためにとっても貴重な体験ができると思います。また、その他の花についてもいろいろ学ぶことができ、充実した日々を送っています。生活を共にする仲間とも助け合いながら、とても楽しく過ごしています。

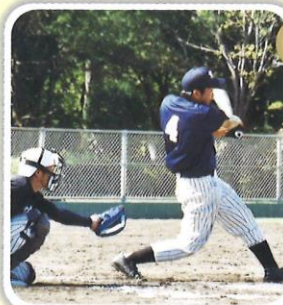
図書館 Library

知識と情報を自分のものに。
専門書から教養書まで豊富な図書を収蔵し、学生が自由に閲覧できます。
平日は午後9時30分まで利用できます。



情報処理室 Information Processing

国際競争力を身につける情報処理を学ぶ。
3年毎に機種更新をする情報処理室では、最新の機種をそろえ情報処理の基礎演習から経営分析、プロジェクトのまとめ、インターネットによる情報収集・発信教育を行います。



サークル Circle

豊かな個性を
●運動クラブ
野球、サッカー、バレー、バドミントン、剣道、陸上、ゴルフ
●文化クラブ
華道、茶道、軽音楽、ティアなど

実現に必ずフィットします。

英会話、体育、総合科目

農業概論、土壌肥料、農業気象、農業工学、生活経営、生物工学概論、農業論、経営演習、特別教育活動



畜産学科

●酪農経営コース ●肉用牛経営コース

高度先端技術を活用した酪農及び肉用牛経営についての理論と実践の学習



●畜産学科共通科目

家畜栄養、家畜飼養管理、家畜育種、家畜解剖衛生、家畜繁殖、飼料作物、畜産概論、受精卵移植概論、受精卵移植演習、畜産流通加工

●酪農経営コース科目

乳用牛飼養管理、酪農経営、プロジェクト学習

●肉用牛経営コース科目

肉用牛飼養管理、肉用牛経営、プロジェクト学習



Message from Student

門口 明裕【肉用牛経営コース】

我が家は繁殖母牛90頭の専業農家です。私は将来、我が家を継ごうと思い農業大学校に入学しました。農業大学校では、繁殖経営を行うために必要な、飼養管理や人工授精、畜産経営等を学んでいます。子牛への哺乳や体重測定などの作業は大変だけど、毎日楽しく過ごしています。寮生活も充実していて、大勢の友達と楽しい学校生活を送っています。卒業後は一年間くらい研修に行ってから、就農したいと思っています。

につける。

ケット、パソコン、卓球、

鼓、ボラン



寮生活 Dormitory

地域リーダーとしての社会性を身につける。

全寮制による共同生活を通して自律心・責任感・協調性を養うとともに、自治会活動を通じて社会組織の基礎活動を体験することで将来の地域リーダーとしての指導力を養います。



行事 Event

充実したキャンパスライフを送るために。

農大祭をはじめとして、探訪会、全校田植え、球技大会、プロジェクト発表会などの校内行事のほか、先進農家研修、海外農業体験研修など盛りだくさんです。

●受験資格 次のすべての項目に該当する者

- (1) 県内の高等学校を平成17年3月卒業見込みの者
- (2) 本校への入学が確実な者
- (3) 県内において卒業後、ただちに農業に従事し(研修後を含む)、かつ地域農業の振興に尽くす意志の強固な者
- (4) 人物及び学業成績が優れ(調査書の評定平均3.5以上)高等学校長が推薦する者

●募集人員

定員のおおむね50%

●受験手続き

- (1) 出願書類
 - ア. 入学願書 本校所定のもの
(縦4cm×横3cm上半身脱帽写真貼付、写真裏面に氏名記入)
 - イ. 高等学校の調査書(進学用)
 - ウ. 高等学校長の推薦書
 - エ. 営農計画書(本校所定のもので就農予定の市町村長の所見の記載のあるもの)
 - オ. 受験票 本校所定のもの
(縦4cm×横3cm上半身脱帽写真貼付、写真裏面に氏名記入)
 - カ. 受験票等送付用封筒 宛名明記の返信用封筒2通
返信用封筒については、430円切手を貼付した定形封筒(12×23.5cm程度)と470円切手を貼付した定形外封筒(24×33cm程度)の2通(簡易書留料を含む)
- (2) 提出先/宮崎県立農業大学校
- (3) 受験料/不要

●願書受付期間

平成16年10月18日(月)から平成16年10月29日(金)まで
(土曜日・日曜日を除く)なお、郵送の場合は当日消印有効

●試験方法及び期日

- (1) 試験期日 平成16年11月19日(金)
筆記試験 10:00~11:50 面接試験 13:10~
- (2) 試験科目
ア. 必須科目 数学Ⅰ、小論文 イ. 面接

●試験場所

宮崎県立農業大学校

●合格発表

平成17年2月4日(金)一般入試合格発表と同時に進行。
(ただし、各高等学校長には平成16年12月3日(金)に内示する。)



●受験資格 次のいずれかの項目に該当する者

- (1) 高等学校を卒業した者及び平成17年3月卒業見込みの者
- (2) 学校教育法第56条の規定により大学に入学することのできる者

●募集人員 (推薦入学を含む)

学 科	専攻コース	修業年限	募集人員
農産学科	水稲畑作経営コース 茶業経営コース	2年	15人
園芸学科	野菜経営コース 花き経営コース 果樹経営コース		25人
畜産学科	酪農経営コース 肉用牛経営コース		25人

●受験手続き

- (1) 出願書類
 - ア. 入学願書 本校所定のもの
(縦4cm×横3cm上半身脱帽写真貼付、写真裏面に氏名記入)
 - イ. 高等学校の調査書(進学用)又は大学入学資格検定合格証の写し
 - ウ. 健康診断書 過年度卒業生のみ必要(3か月以内の公的機関発行のもの)
 - エ. 受験票 本校所定のもの
(縦4cm×横3cm上半身脱帽写真貼付、写真裏面に氏名記入)
 - オ. 受験票等送付用封筒 宛名明記の返信用封筒2通
返信用封筒については、430円切手を貼付した定形封筒(12×23.5cm程度)と470円切手を貼付した定形外封筒(24×33cm程度)の2通(簡易書留料を含む)
- (2) 提出先/宮崎県立農業大学校
- (3) 受験料/不要

●願書受付期間

平成16年12月6日(月)から平成16年12月17日(金)まで
(土曜日・日曜日を除く)なお、郵送の場合は当日消印有効

●試験方法及び期日

- (1) 試験期日 平成17年1月18日(火)
筆記試験 9:10~12:10 面接試験 13:10~
- (2) 試験科目

ア. 必須科目 国語Ⅰ(古典を除く、作文を含む)、数学Ⅰ
イ. 選択科目 生物ⅠA、生物ⅠB、化学ⅠA、化学ⅠB、
作物、園芸(野菜、花き、果樹)、畜産から1科目
ウ. 面接

●試験場所

宮崎県立農業大学校

●合格発表

平成17年2月4日(金)午前9時本校玄関前に掲示するとともに、本人あて通知する。なお、電話による問い合わせには応じない。

●受験資格 次のいずれかの項目に該当する者

- (1) 各県農業大学の学科を卒業した者及び平成17年3月卒業見込みの者
- (2) 学校教育法に基づく短期大学において農業を専修する学科若しくはこれに相当する課程を卒業した者及び平成17年3月卒業見込みの者
- (3) 知事が農業に関して短期大学卒業者と同等以上の学力を有すると認めた者

●募集人員

専攻コース	修業年限	募集人員
農産コース 園芸コース 畜産コース	2年又は1年	2年課程 10名以内 1年課程 若干名

(※畜産コースは1年課程のみ募集)

●受験手続き

- (1) 出願書類
 - ア. 入学願書 本校所定のもの
(縦4cm×横3cm上半身脱帽写真貼付、写真裏面に氏名記入)
 - イ. 卒業(見込み)証明書又は受験資格証明書
 - ウ. 成績証明書
 - エ. 健康診断書 3ヶ月以内のもの(公的機関発行のもの)
 - オ. 受験票 本校所定のもの
(縦4cm×横3cm上半身脱帽写真貼付、写真裏面に氏名記入)
- (2) 提出先/宮崎県立農業大学校
- (3) 受験料/不要

- カ. 受験票等送付用封筒 宛名明記の返信用封筒2通(本校在校生は不要)
返信用封筒については、430円切手を貼付した定形封筒(12×23.5cm程度)と470円切手を貼付した定形外封筒(24×33cm程度)の2通(簡易書留料を含む)

- (2) 出願先/宮崎県立農業大学校
- (3) 受験料/不要

●願書受付期間

平成16年11月1日(月)から平成16年11月5日(金)まで
(土曜日・日曜日を除く)なお、郵送の場合は当日消印有効

●試験方法及び期日

- (1) 試験期日 平成16年11月19日(金)
筆記試験 10:00~14:00 面接試験 14:10~
- (2) 試験科目

ア. 必須科目 農業概論(農業技術概論、農政事情、農業経営、生活経営)、一般教養
イ. 選択科目 作物学、園芸学、畜産学から1科目選択
ウ. 面接

●試験場所

宮崎県立農業大学校

●合格発表

平成16年12月3日(金)午前9時本校玄関前に掲示するとともに、本人あて通知する。

■資格及び特典

学科を卒業した者は、
人事院規則9-8に定める「短大2年卒」の資格が認められる。
本校専攻科の受験資格が与えられる。

在学中に次の受験資格が与えられる。

大型特殊及びけん引免許（農耕用）、農業機械士、小型建設機械取扱者、危険物取扱者、毒物劇物取扱責任者、家畜人工授精師、2級認定牛削蹄師

（財）宮崎県農業後継者育成基金協会から卒業後即就農する者は
就農研修資金（無利子）を借受けることができる。
（月額50,000円以内。定数枠あり）

■海外農業体験研修（2年次実施）

■在学中の経費（2年間）

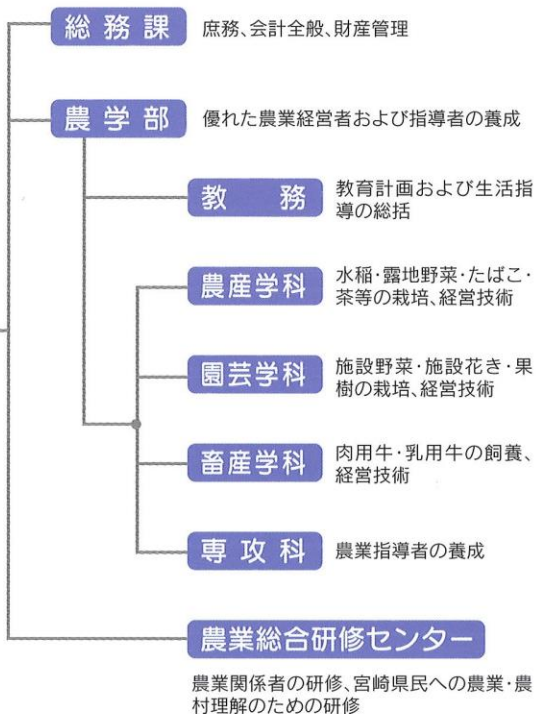
授業料は徴収しない。

教材・教具、実習服、制服等	20万円 程度
海外農業体験研修費	30万円 程度
傷害保険料	4万円 程度
自治会費・後援会費	9万円 程度
卒業アルバム代	2万円 程度
寮電気料・共益費	5万円 程度
寮食費	48万円 程度
計	118万円 程度

※在学中の経費は入学時に納入する。ただし、海外農業体験研修費（全額）並びに寮食費及び自治会費・後援会費（2年次分）は2年次進級前の2月末日までに納入することができる。
※その他に必要な経費が生じた場合は別途徴収する。

●宮崎県立農業大学の組織●

宮崎県立農業大学校



受験手続き等のお問い合わせ先

宮崎県立農業大学校 教務まで

〒884-0005 宮崎県児湯郡高鍋町大字持田5733番地 TEL(0983)23-0120 FAX(0983)22-2529

<http://www.pref.miyazaki.jp/nousei/einou/noudai/>